

経営の原理原則を学ぶニッポンの社長たち
http://www.nippon-shacho.com

～2つの芸能事務所で確かな実績を重ねた敏腕マネージャー～

「一蓮托生」の想いを胸に、 タレントの成長と飛躍を後押しする

株式会社Lotus Promotion
代表取締役 **荒井 貞行** あらい さいだゆき



株式会社Lotus Promotion 代表取締役 荒井 貞行

「一蓮托生」の想いを胸に、タレントの成長と飛躍を後押しする

「昔ほど華やかでなくなった芸能界を、もう一度魅力的な業界にしていきたい」と語るLotus Promotionの荒井代表。かつての80年代や90年代のように、スターと言われる多くの人たちが輝きを放っていた時代を再び取り戻したいと言う。これまで2つの事務所で人気タレントのマネジメントを手掛けてきた同氏が、自ら事務所を立ち上げ、時代を創るスターの種をいま発掘しつつある。マネージャー兼経営者として金の卵を探す荒井氏に、今後に賭ける思いを聞いた。

— 御社の事業内容を教えてください。

主に女性タレントをマネジメントする芸能プロダクションです。現在は私自身のキャリアを生かして、タレントや女優、モデルを中心にしたマネジメントを手掛けています。

今後は新たなマネージャーの採用を視野に入れながら、歌手や男性アーティストの領域にも幅を広げていきたいと考えています。

— 荒井代表がこの業界に入ったきっかけは何だったのですか。

20代前半の頃に、知人がラジオ業界のディレクターをやっていて、「あるプロダクションがマネージャーを募集しているのでやってみないか？」と誘われたのが最初でした。

私は東京の浅草生まれの杉並区育ちなのですが、小・中学生時代の先輩や後輩に、後に著名なスポーツ選手や人気女優、人気モデル、人気アニメ監督となった方達がいて、芸能界を何か身近に感じていた点もあったように思います。

プロフィール

お名前	荒井 貞行
お名前(ふりがな)	あらい さいだゆき
出身	東京都
身長	170cm
体重	60kg
血液型	O型
平均睡眠時間	7時間
平均起床時間	7時
今までに訪れた国	10ヵ国
好きな食べ物	肉、野菜
好きな言葉	一蓮托生
もし生まれ変わったら?	自分

最初に入ったのは、著名な女性タレントやモデルも多く在籍する事務所でした。私は約5年間で、テレビのバラエティ番組でも活躍した人気女性タレント2名を担当。最終的にはチーフマネージャーの役職をいただきました。

もちろん入社時は業界自体初めての経験ですから、芸能マネージャーとしての基礎を一から学ばせてもらうことになりましたね。



— どのような仕事から始まるのですか。

最初は現場マネージャーとして、先輩マネージャーを補助する役割から始まります。タレントの送り迎えや、打ち合わせの立ち合いなど付き人のような役目を担います。原稿チェックや写真のチョイス、雑誌の誌面の色校正確認などの地味な作業をしっかり覚えることも重要です。

の地味な作業をしっかり覚えることも重要です。

そうした地道な下積みを重ね、現場を知って業界内の人間関係や人脈ができていくと、タレントの担当となってマネージャーとして本来の業務に入っていきます。私は約半年で、事務所の看板の1人だったグラビアアイドル出身の女性タレントの担当に付かせてもらいました。

— どのあたりを評価されて担当に付いたのですか。

「とりあえずやってみる」ということでスタートして、付けてみたらタレントとの相性も悪くなかったということでしょうか。

マネージャーは言うまでもなく、担当のタレントとずっと一緒に仕事をするわけで、同年代の女性タレントともなれば、マネージャーが自分と合う人間かどうかを敏感に判断します。それが悪くなかったということかな…と思います。

約3年間担当した後にもう1人の女性タレントを約1年間担当した後に、自分のマネージャーとしての領域をもっと広げたいと考え、著名な女優やモデルのマネジメントを行う、別のプロダクションに移りました。

そこでは約5年間、新人女優や人気女性モデル、人気女性タレントのマネジメントを担当。最初の事務所とは違ったジャンルで、人気女優等を数多く抱えている事務所でもあり、マネージャーとしての仕事の幅が広がったように思います。

何があってもタレントを守ることが マネージャーとしての責務



— タレントをマネジメントしていく中で、大切にしていることは何でしょうか。

マネジメントは、第一にタレントの気持ちを確認するところからスタートします。「どんな仕事をしていきたいか」という意向をヒアリングし、それを尊重した上でマネジメント方針を決めていくことを大切にしています。

例えば、好きな趣味や特技を生かした売り出し方や、適した媒体や企画を選んでいくことも必要でしょう。本人の将来的なビジョンや目標などをしっかりと聴いた上で、できるだけ分かりやすく方向性やプランを伝えていきます。

過去に私がマネージャーとして担当した中には、モデルとして人気があったタレントが、バラエティ番組でさらに力を発揮し、魅力をいっそう開花させていった例もあります。本人の思いを尊重することで、さらなる成功を手にすることも多くあるんですよ。

例えばグラビアアイドルの場合は二度売れないといけないので大変です。グラビアアイドルとして雑誌で人気を獲得して、初めてテレビに出れる様になります。その後、テレビでもう一度売れなければ世間の方には名前を覚えて頂けません。ここまで来てようやく一人前のタレントです。そのほとんどが雑誌の表紙を飾る事が出来ません。モデルも同様に女優に転身する前にモデルとして知名度を上げなければなりません。また、最近は“モグラ”といってモデルをやりながらグラビアもやる女性が増えました。今までは主に同性（女性）の支持を集めていたのが、近年は異性の支持も獲得する様になりました。



— マネジメントにおいて荒井代表が留意していることは他にありますか。

タレント自身にとっての境界線、いわゆるNG事項を尊重することも重要です。芸能活動において、「自分はこのようなことはしたくない・言いたくない」という意思を明確にもつことも大切なのです。タレント本人のモチベーションは大事ですから、できるだけそれが上がるような状況を作ってあげることに留意していますね。

ただ、中にはあまり気の進まない仕事だってあるでしょう。どの世界でも言えることですが、本人が成長していく上で、その仕事が必要な場合もあります。そうした時には、本人の意思や意向を尊重しながらしっかりと話し合い、

最終的にお互いが納得

の上で方向性を決定していきます。

プロフィール

お名前	荒井 貞行
お名前（ふりがな）	あらい さいゆき
出身	東京都
身長	170cm
体重	60kg
血液型	O型
平均睡眠時間	7時間
平均起床時間	7時
今までに訪れた国	10ヵ国
好きな食べ物	肉、蕎麦
好きな言葉	一蓮花生
もし生まれ変わったら？	自分

した上で方向性を決定していきます。

また未成年のタレントの場合は、親権者の方の意向を第一優先にしてマネジメント計画を立てることも重視していますね。

他には、マネジメントとは少し違う話になりますが、最近はスカウト方法も多様化してきており、弊社でも従来の街頭でのアナログなスカウトに加えてデジタル（Facebook、twitter、Instagram、etc）でのスカウトも強化しております。

— これまでのマネージャーとしての仕事の中で、印象に残った場面を教えてください。

以前担当していたタレントが、ある番組に出演した時の話です。事務所の後輩タレントもいた中で、台本に書いていなかったはずの「NG事項」の“フリ”がMCからいきなり本人へ飛んできたのです。

本人はプロのタレントですから、自分から「出来ません」「嫌です」ということは口が裂けても言いません。“フラれたら”やるしかないのです。ただ、私はそのまま見逃すことはできませんでした。咄嗟にカメラの前を走り、大きな声で「やめてくれ！こんな話は聞いていない！」と叫びました。

いちマネージャーが、番組の収録を止めるなど普通に考えたら言語道断です。しかし後輩たちの前で恥をかかせる訳にはいかず、何があってもタレントを守ることがマネージャーとしての責務だと強く思ったのです。

しかし、すぐに番組のプロデューサーが飛んで来て私の上司と共に叱責されました。番組自体は生放送ではなく、収録でしたから、プロデューサーの言う（後でカットすれば良い）と言うことも勿論想定内でしたが、カットすれば良いと言うのはあくまでもOA上での話です。その収録現場では“させたくない・やりたくないポーズ”をしなければいけません。現場のスタッフ等の目には触れます。それがタレントにとってどれだけ嫌な事かという事がプロデューサーは分かっていないのです。

結果的には、初めに届いた台本のNG事項が書いて有った箇所に修正依頼をして、それを了承した後に我々には修正済みの台本が届き、スタッフ・制作側は修正前の台本を元に進行していたという事だと思われれます。

マネージャーは本当の家族では無いですが、時にはプライベートなことも含めて、家族以上に本人のことを考えています。この時の経験が、タレントとの信頼関係を育む上での私の基礎となり、支えになっていると思います。

余談ですが、この件が有った直後に私はチーフマネージャーに昇進しました。確認はしていませんが、恐らく担当していた女性タレントが事務所の代表に進言してくれたのだと思います。この一件により、一層信頼関係が深まったと思いません。



タレントの運命を背負い 人生を預かるくらいの気持ちをもつ

— 現在のLotus Promotionを起業した経緯を教えてください。

自分の人生の幅を広げたいと考えて、2年前に前職の事務所を退職しました。ところが、その4カ月後に急に体調を崩してしまったのです。病名は脳梗塞で、約10カ月の間に二度の手術を行い、入院生活を余儀なくされました。

その後、後遺症が残ってしまい、主治医からはマネージャーとしての必須条件である車の運転も禁止されてしまいました。

そうなるともう、どこのプロダクションも採用してくれません。ただ、私としてはやはりマネージャーの仕事が好きで、これからも続けたいという強い気持ちがあったのです。

誰も採用してくれないなら、自分で事務所を興すしかない。そう考えて、Lotus Promotionを起業したのです。

また、競合他社が多いという事は競争は激しいものの、大きなニーズがある証し。

商品やサービスを他社と差別化出来れば、後発でも成長事業となる可能性が有るはずだとも思いました。



— どのような会社になりたいと考えましたか。

社名である「Lotus」は、私の好きな言葉である「一蓮托生」の蓮の意味なのですが、社員・タレントと共にみんなで仲間として行動や運命を共にし、一丸となって進んでいきたい、という思いを託しました。

プロダクションのマネジメント業務は、タレントの運命を背負い、その子の人生を預かるくらいの強い気持ちを持つことが求められます。一蓮托生の思いを持ちながら、マネージャーはタレントに信頼される存在でなければいけません。

プロフィール	
お名前	片井 真行
お名前 (ふりがな)	あらい まさゆき
出身	東京都
身長	170cm
体重	50kg
血液型	O型
平均睡眠時間	7時間
平均起床時間	7時
今までに訪れた国	10ヵ国
好きな食べ物	肉、野菜
好きな言葉	一蓮托生
もし生まれ変わったら?	自分

いつでも不平や不満を聴くストレスのはけ口だったり、仕事において的確なアドバイスができるパートナーであることも必要です。日々の小さな事柄の積み重ねによって、タレントとの信頼関係は徐々に出来上がっていくのです。

タレント自身の成長をサポートし、何よりも本人がステップアップしていく姿を見られるのは、マネージャーとして一番のやりがいですね。

— 今後のビジョンを教えてください。

現在の所属タレントを皆様の目に届けていくことが当面の目標です。そして、将来のスターの種を発掘し、育成していくことに尽きます。

私はこの業界で約10年間、数々のタレントのマネジメントに携わってきましたが、成功できるタレントはほんのわずかという厳しい世界です。

しかし一方で、売れていくタレントも数多く見てきました。一度名前と顔が売れば、文字通り名声と富を得ることができる世界。なかなか他の業界では実現できないことが叶えられる、夢のある世界ともいえるのです。

成功できるという保証は何もありません。しかし、自身に才能と努力が伴えば、成功できる可能性が必ずある業界です。

そのためには、覚悟も必要ですし、自己管理や自己プロデュース能力も必要。その上で、この世界で頑張りたいという方はぜひご連絡ください。全力でマネジメント・プロデュースさせていただきます。

■ 荒井 貞行（あらい さらゆき）

1980年7月7日、東京都生まれ。六本木のディスコで働いていたときに、知人の紹介で人気タレントが数多く在籍する芸能プロダクションにマネージャーとして採用。グラビアやバラエティ番組などで活躍していた人気女性タレントの担当に。その後、人気女優や人気モデルが数多く在籍する別のプロダクションに移り、人気女性タレント・女優・モデルのマネージャーとして活躍する。同事務所を退職後、病気を契機に自ら芸能プロダクションを設立することを決意。2015年に株式会社Lotus Promotionを設立して代表取締役就任した。現在女性タレント（モデル・女優）を中心にプロデュースし、今後の飛躍を期している。